

なに？どうすればいいの？

# 大気汚染物質PM2.5とは



す。ものの燃焼などによる発生を一次生成（ばい煙、粉じん施設、自動車、航空機、火山、たばこの煙など）といい、大気中の化学反応により発生するもの（硫酸酸化物、窒素酸化物など）を二次生成とい

います。PM2.5の粒子は目に見えないほど小さな物質です。そのため肺の奥深くまで入り込みやすく、ぜんそくや気管支炎などの呼吸器・循環器系疾患などのリスクを上昇させると考えられています。

●PM2.5とは・・・  
粒の大きさが2.5マイクロメートル以下（※1マイクロメートルは、1ミリメートルの千分の一）の微小粒子状物質です。この物質は髪の毛の30分の1以下の大きさで非常に小さな粒子であり、呼吸器系の奥深くまで入りやすいことから、人の健康に影響を及ぼすことが懸念されています。

## ●健康への影響

PM2.5の粒子は目に見えないほど小さな物質です。そのため肺の奥深くまで入り込みやすく、ぜんそくや気管支炎などの呼吸器・循環器系疾患などのリスクを上昇させると考えられています。特に、お年寄りや小さな子どもなどは影響を受けやすいと考えられるので注意が必要です。

## ●主な発生源

ものが燃焼することなどによって排出されたり、大気中で化学反応を起して粒子化したりすることによって発生します。

## ●県内の注意喚起の発表基準

岐阜市内3局の測定箇所の早朝（午前5時～7時）の1時間値のいずれかが85マイクログラム

◆県の発表を受け、午前7時30分から8時ごろにかけて「下呂市全域」に防災行政無線でお知らせします。

## ●注意喚起の解除基準

①岐阜市内3局の1時間値が全て50マイクログラム以下になった場合。  
②①に該当しない場合でも、日没時間を経過した場合は自動的に解除となります。

## ●注意喚起発令時の対処

【屋外では】PM2.5を大量に吸い込まないように、マスクを着用し長時間の激しい運動を減らしましょう。

## 【屋内では】

不必要な外出はできるだけ控え、換気や窓の開閉を必要最小限にしましょう。

## 【マスクの着用】

花粉症対策などの一般用マスクでは防ぐことは難しいようです。吸入防止効果の高い防塵マスクを購入する際は、効果や性能について調剤薬局にご確認ください。

## 【空気洗浄機】

フィルターの有無や性能など機種によって有効性が異なるため、詳しくは製品表示や販売店・メーカーにご確認ください。

## ●市内保育園の対応

【開園】保育時間、通園バスともに通常通りです。

## 【保育】屋外での長時間の運動を避けます。また、アレルギーやぜんそくの既往歴がある園児は、症状が悪化する恐れがあるためマスクを着用し園外活動は避けます。

※園児が常に安全に過ごせるように配慮し保育を実施しますが、保育については保護者の判断とし、登園時はマスクの着用をおすすめします。

## ●市内小中学校の対応

### 【児童生徒の対応】

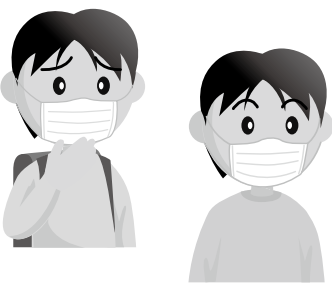
①通常通り登校する。  
②外での学習活動や遊びを控える。  
③換気や窓の開閉を最小限にとどめる。

※お子さんのアレルギーやぜんそくなどの既往歴により、ご心配のある場合は保護者の判断でマスクの携行をお願いします。

## ●PM2.5関連ホームページ

環境省 <http://www.env.go.jp/air/osen/pm/info.html>  
岐阜県 <https://www.pref.gifu.lg.jp/kankyov/taiki/kensasokuh/sokuhou.html>

## 【環境部・環境課】



# 下呂市家庭教育支援チームの取り組み



ゆる体操を楽しむ母と子

現在、市ではお子さんや子育て中の保護者に向けたさまざまなサービスを提供しています。

ここでは「下呂市家庭教育支援チーム」の取り組みをご紹介します。

【教育委員会・社会教育課】

## ○UP(アップ)カフェの開催

市内各所で開催しているこの取り組みは、話し合いの前に読み聞かせや音楽鑑賞、大道芸や各種レクリエーションで、子どもとお母さんがリラックスできる雰囲気を出しています。

その後、6〜8人程度の小グループに分かれて、手作りお菓子とお茶を楽しみながら、和やかな雰囲気です話し合います。

## 「テーマを決めるのは自分」

グループごとに参加者自身がテーマを決めて話し合います。子どもの年齢に関係なく誰でも参加でき、子育ての悩みだけでなく情報交換の場にもなっています。

グループ内では、異年齢の子どもを持つ親同士ならではの会話も弾み「先輩ママの話に勇気づけられました」といった感想や、「悩んでいるのは自分だけじゃない」「共感してもらえてうれしかった」と安心して参加者の声も聞かれます。

## ○赤ちゃんカフェの開催

0歳児の親子を対象にした交流の場です。飲み物と手作りおやつを楽しみながら、日々の子育てについて話し合います。上の年齢の子どもがいる場合は、別室で託児をします。ので、じっくり話し合いに参加できます。同年齢の子

を持つお母さんが集まる場は、友人作りや情報交換に大切な時間となっています。

## ○誰でも気軽に参加

市家庭教育支援チーム代表の熊崎淑さんくまざきしほは「この事業は親御さん同士の横のつながりをお手伝いするもので、参加者がストレスを発散しリフレッシュすることで、明日への活力になるようにと心掛けています。市内各地域で開催していますので、気軽に参加してください」と呼びかけていました。

## ○申し込み

今回ご紹介しましたUPカフェ・赤ちゃんカフェでは、参加者を募集しています。メールで開催情報などをお知らせしますので、参加を希望する方は、右下のアドレスまで①名前②携帯電話番号を送信するか、QRコードを読み取って送信してください。

【下呂市家庭教育支援チーム 熊崎・090-7317-0333】



(QRコード)  
gero-shien333@polka.ocn.ne.jp

## ○UPカフェ開催情報

- ▼7月9日・あさんず会館
  - ▼9月10日・あさんず会館
  - ▼9月17日・金山市民会館
  - ▼10月3日・馬瀬中央公民館
  - ▼10月8日・小川区集会所
  - ▼11月12日・小坂健康ふれあいセンター
  - ▼12月10日・あさんず会館
  - ▼2月4日・金山市民会館
  - ▼3月11日・小坂健康ふれあいセンター
- ※いずれの会場も10時から

## ○赤ちゃんカフェ開催情報

- ▼7月9日・金山市民会館
- ▼8月30日・星雲会館
- ▼9月10日・金山市民会館
- ▼10月18日・星雲会館
- ▼11月12日・金山市民会館
- ▼12月13日・星雲会館
- ▼1月14日・金山市民会館
- ▼2月21日・星雲会館
- ▼3月18日・金山市民会館

※いずれの会場も10時から